

令和 8 年 5 月 2 5 日

教職員 各位

徳島大学オープンサイエンス推進専門委員会

学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針への対応について（通知）

近年、学術論文及び研究データのオープンアクセスの推進は、研究成果の透明性及び社会への還元を促進する取組として国際的に進展しています。我が国においても、「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」（令和 6 年 2 月 16 日統合イノベーション戦略推進会議決定）が公表され、公的資金による研究成果について、速やかな公開が求められることとなりました。

この方針では 2025 年度以降に新たに公募される一部の競争的研究費の採択者は、査読済み学術論文及びその根拠データを、学術雑誌掲載後速やかに誰でも無償で閲覧できる形（即時オープンアクセス）で公開することが義務付けられています。

このことを踏まえ、本学においては、研究データ管理基盤の整備及び機関りポジトリの運用等により、即時オープンアクセスへの対応に必要な環境を整備しています。教職員各位におかれましては、下記の内容をご確認のうえ、適切にご対応くださるようよろしくお願いいたします。

記

1 対象となる競争的研究費制度^{※1}

	府省名	資金配分機関	制度名
1	文部科学省	日本学術振興会	科学研究費助成事業
2	文部科学省	科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業 ^{※2}
3	文部科学省	日本医療研究開発機構	戦略的創造研究推進事業 (革新的先端研究開発支援事業)
4	文部科学省	科学技術振興機構	創発的研究支援事業

※1 2025 年度以降に新たに公募される競争的研究費が対象

※2 先端的カーボンニュートラル技術開発（ALCA-Next）及び情報通信科学・イノベーション基盤創出（CRONOS）を除く。

2 対象となる研究成果

【学術論文】

電子ジャーナルに掲載された査読済みの研究論文（著者最終稿を含む）

【根拠データ】

掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において、透明性や再現性確保の観点から必要とされ、公表が求められる研究データ（Supplemental Data 等の公表を前提としているデータ）

3 公開方法について

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」では、所属機関の機関リポジトリ等による公開を原則としています。本学においては、徳島大学機関リポジトリで論文及び根拠データを公開することができます。

公開申請については、機関リポジトリ登録申請方法ページ（<https://tokushima-u.repo.nii.ac.jp/application>）をご覧ください。

学術雑誌出版社にオープンアクセス公開掲載料（APC：Article Processing Charge）を支払い、出版社サイトでオープンアクセスにすることも認められています。

なお、即時オープンアクセスが困難な場合には、実績報告において理由を報告してください。困難な理由が解消された場合は、速やかに機関リポジトリ等への掲載を行うことが求められています。

即時オープンアクセスの対象確認には、別紙「即時オープンアクセス対象確認フローチャート」もご利用ください。

【参考】

- ・学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針（令和6年2月16日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf
- ・「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」（統合イノベーション戦略推進会議 令和6年2月16日決定）の実施にあたっての具体的方策（令和6年2月21日関係府省申合せ）
https://www8.cao.go.jp/cstp/openscience/r6_0221/hosaku.pdf
- ・学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針、及び学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針の実施にあたっての具体的方策に関するFAQ
https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_houshin_faq.pdf

（問い合わせ先）

学術情報部図書情報課

Tel：088-656-7586（内線 82-6122）

E-mail：tszasshik@tokushima-u.ac.jp

【即時オープンアクセス 対象確認フローチャート】

